

平成30年度 年間読書のすすめ 宇都宮短期大学附属高等学校 読書指導係

	書名	著者	内容	発行所
				価格
自然科学学	脳はどこまでコントロールできるか？	中野 信子	東大大学院卒、「MENZA」会員、今や多数のテレビ番組で活躍中の脳科学者中野信子の、読みやすくそして奥深い脳についての最新の研究に基づいた情報盛りだくさんの本。	KKベストセラーズ ベスト新書 778
	脳・心・人工知能 数理で脳を解き明かす	甘利 俊一	人工知能が人間の能力を超える「シンギュラリティ」は、本当に訪れるか？ ロボットが心を持つことが可能になるか？「数理脳科学」の第一人者が不思議で魅惑的な脳の世界を解説。	講談社 ブルーバックス 900
	山中伸弥先生にiPS細胞について聞いてみた	山中 伸弥	「ジャマナカ」と馬鹿にされ、臨床医をあきらめた挫折からはじまった研究……。読みやすい語り口で、iPS細胞の基本もよく分かる、ノーベル賞受賞者の自伝。	徳間書店 1,260
	超面白くて眠れなくなる数学	桜井 進	読み出すとページをめくる手が止まらなくなる超面白い数学エンターテイメント！ 数学は宝くじやギャンブル、お化粧のテクニックや漢字の中にまで潜んでいます。	PHP研究所 1,404
	元素周期表で世界はすべて読み解ける	吉田たかよし	周期表はどのようにできているのか、元素とは何か、といった基本を解説し、そのあとで周期表に照らしながらさまざまな話題を論じ、考えていく一冊。	光文社 800
社会科学	日本人としてこれだけは知っておきたいこと	中西 輝政	60年前の敗戦をきっかけに、明治も江戸も古代までも全否定する歴史観が支配してきた。近現代世界が大きく変動している今、日本文明の核心を捉える。	PHP新書 799
	オーケストラ楽器別人間学	茂木 大輔	血液型や星座で性格判断するように、楽器からもその人の特徴が分かる。楽器を演奏する人もしない人も楽しめるはず。これを読めば楽器を演奏したくなるかもしれません。	新潮文庫 590
	絶望名人カフカの人生論	カフカ 頭木弘樹編著	数ある偉人の言葉の中で、これほどまでに極端に絶望的な名言が存在したのだろうか。奇才カフカの「絶望」が心の隙間に入り込み、背中を押してくれる「始まり」の一冊。	新潮社 520
	言葉の誕生を科学する	小川 洋子 岡ノ谷 一夫	鳥のさえずり、クジラの歌……。『求愛の歌』は進化の過程で「歌」から「言葉」へ飛躍をとげた。言葉を獲得した人間は原子力を生み出し……。人類の行き着く結末は？	河出ブックス 1,296
	これだけは知っておきたいマスコミの大問題	池上彰・森達也	本校採用教科書にも採用されている、映画監督であり作家でもある森達也の、現代メディアの問題点を奥深くえぐった好著。あなたはメディアの作為を理解していますか？	現代書館 1,400
	人を見捨てない国、スウェーデン	三瓶 恵子	スウェーデンには受験地獄がない。結婚等が自由。福祉が充実。だが、自立が求められるので、黙って何かを待っているだけでは何も起こらない国。30年住んだ著者の本。	岩波ジュニア新書 886
	悩む力	姜 尚中	現代を代表する知識人の学識と経験の結晶！ 激変する世界への違和感と、寒々とした孤独感に囚われる現代人に、「悩み」を手放さずに、真の強さを掴みとる生き方を提唱。夏目漱石とマックス・ヴェーバーをヒントに書き下ろした珠玉の一冊！	集英社 734
言葉の海へ	高田 宏	あらゆる困難を乗り越え、17年の時間を月日を費やし、わが国初の国語辞書を独力で完成させた大槻文彦。近代国家日本の確立に献身した一人の明治人の姿を激動の時代に重ねあわせて書き出した一冊。	新潮文庫 638	
歴史	〈2018年課題図書〉千年の田んぼ	石井 里津子	日本の山口県三島が舞台。秘境の離島に、飛鳥時代に日本で初めて作られた田んぼがあった。日本の田んぼの正体を追いかける。歴史好きにおすすめの内容。	旬報社 1,620
	〈2018年課題図書〉わたしがいどんだ戦い 1939年	キンバリー・ブルベーカー・ブラッドリー	生まれつき足の悪いエイダは母に家に閉じ込められ暴力を振るわれる。その環境から弟と何とか逃げ出し、疎開したことから素晴らしい人に出会い徐々に心が開かれていく。虐待された少女が、いかに強い心を取り戻していくのか。必見です。	評論社 1,728
	高校生が感動した論語	佐久 協	論語は2千年の長きにわたり、物の考え方をはじめ、日本人の精神の根幹であり続けてきた。本書では授業において難しいと敬遠しがちな論語をおもしろく紹介している。	祥伝社 800
	故事成句でたどる楽しい中国史	井波 律子	ジュニア新書と侮るなかれ。大学の文学部の基礎知識として十二分な内容が書かれている。読みやすい文章でありつつ、壮大な中国の歴史の流れを掌握できる好著。	岩波ジュニア新書 780
	源氏物語の時代	山本 淳子	「源氏物語」成立に強い影響を与えた一条と后たちの愛の物語。皇位や政権をめぐる権謀術数のエピソードを、史料と最新の研究で紡ぎ上げたサントリー学芸賞・芸術賞受賞作。	朝日選書 1,404
	頼朝と政子	田中 弘幸	源頼朝の妻として、頼家・実朝の母として、源氏を支え続けた稀代の女性北条雅子を通して描く歴史小説。鎌倉時代初期、源氏三代での滅亡と北条家隆盛の真実と様々な謎について描いています。	文藝春秋 1,944

	書名	著者	内容	発行所
				価格
小説	タスキメシ	額賀 滯	名門校で将来を期待されていた眞家早馬(高3)は右膝骨折という大けがを負いリハビリ中。そんな折、調理実習部と出会い料理に没頭する。陸上部員やライバルたちは早馬が戻ってくることを切実に待っているが……。	小学館 1,300
	すててこそ 空也	梓澤 要	平安時代半ば、天皇の皇子ながら都を出奔した空也。市井に生きる聖となった空也はひたすら仏の救いと生きる意味を探し求めていく。「欲も恨みもすべて捨てよ」と説き続けたた聖の感動の障害。	新潮文庫 810
	河童	芥川 龍之介	ある精神患者の第二十三号はある日、河童に出会い、河童の国に迷い込む。この作品は奇怪な河童の国を通して、当時の日本社会を痛烈に風刺した小説であり、芥川の自殺の動機を考える上で重要な作品の一つ。	岩波文庫 432
	塩狩峠	三浦 綾子	結納のため札幌に向かった鉄道員永野信夫の乗った列車が、塩狩峠の頂上にさしかかった時、突然客車が離れ、暴走し始めた。青年の愛と信仰に貫かれた生涯を描き、人間存在の意味を問う長編小説。	新潮文庫 724
	真夜中の子供	辻 仁成	日本屈指の繁華街・博多中洲。その街で真夜中を生きる無国籍の少年。夜を超え彼が掴み取った自らの居場所とは？ 家族の繋がりを超えた人間の強さと温かさを描く感動作。	河出書房新社 1,728
	走れ健次郎	菊池 幸見	盛岡初の内閣マラソン大会にハブニングが起こった。コース沿いの歩道をトップ集団と並走して走る男。関係者や実況、参加ランナーは戸惑いを隠せない。だがやがて、男の真剣な姿が周りの心を動かし始める。	祥伝社文庫 648
	黒い雨	井伏 鱒二	一瞬の閃光に街は焼け崩れ、放射能の雨の中を人々はさまよって歩く。“黒い雨”にうたれただけで原爆病に侵されてゆく娘との忍苦と不安の日常を、無言のいたわりで包みながら、悲劇の実相を人間性の問題として鮮やかに描く。	新潮文庫 680
	銀河鉄道の夜	宮沢 賢治	貧しく孤独な少年ジョバンニが、親友カムパネルラと銀河鉄道に乗って美しく哀しい夜空の旅をする。銀河鉄道は死後の世界の幻視である。作者の妹の死、友との決別などの原体験が昇華した幻想文学の傑作。	新潮社 464
	きりこについて	西 加奈子	「ぶず」って言葉は、よく聞く言葉であるが、定義があいまいである。本文中で「ぶず」と何回も連呼されるきりこを見つめることで、ほんとうの美しさを見つけてほしい。	角川文庫 562
	下町ロケット	池井戸 潤	研究者としてロケット開発に携わっていた主人公は、失敗の責任を取って研究者の道を辞し、親の跡を継いで小さな会社を経営していた。そんな中、ライバル会社から訴訟が届き、法廷闘争に巻き込まれていく。モノ作りに情熱を燃やす社長の意地とプライド、夢を描いた直木賞受賞作品。	小学館 1,836
調律師	熊谷 達也	ピアノの音を聞く「香り」を感じるという感覚を持つ主人公が経験する、愛する人の喪失や人間性の回復を描いた連作小説。震災を経験した筆者ならではの壮絶でリアルな描写も心に迫ります。	文春文庫 972	
神坐す山の物語	浅田 次郎	奥多摩御嶽山の神官屋敷。そこで物語られる怪談めいた夜語り。聞かされたのは怖いけれどもなぜか惹きこまれる話ばかりであった。切なさにほろりと涙が出る、浅田版遠野物語ともいべき御嶽山物語。	双葉文庫 640	
旅のラゴス	筒井 康隆	突然高度な文明を失った代償として、人びとが超能力を獲得した「この世界」で、ひたすら旅を続ける男ラゴス。生涯をかけて旅をするラゴスの目的は何か？ 異空間と異時間がクロスする不思議な物語。	新潮文庫 529	
その日のまえに	重松 清	昨日までの暮らしが、明日からも続くはずだった。それを不意に断ち切る、愛する人の死……。生と死と、幸せの意味を見つめる最新連作短編集。	文春文庫 648	
出口のない海	横山 秀夫	発射と同時に死を約束された極秘作戦が、第二次世界大戦の終戦前にあった。ヒジの故障のために、期待された大野野球を構った甲子園優勝投手並木は、なぜ自ら人間魚雷「回天」への搭乗を決意したのか。命の重みとは、青春の哀しみとは……。ベストセラー作家が描く戦争青春小説。	講談社文庫 637	
フラダン	古内 一絵	女子率100パーセントのフラダンス愛好会に集められた4人の男子高校生。その目的は男女混合によるフラガールズ甲子園出場だ。震災から5年後の福島を舞台に描くときどき笑顔と涙の青春ストーリー。	小峰書店 1,500	
絶望キャラメル	島田 雅彦	絶望は噛みしめるほどほどに甘くなっていく。経済が崩壊し、諦め感の漂う町・葦原で、四人の高校生は町の未来を懸けたプロジェクトに着手する。青春小説のニュースタンダード。	河出書房新社 1,728	
風が強く吹いている	三浦しをん	箱根駅伝を走りたい……。そんな灰二の想いが、天才ランナーと出会うきっかけを出す。十人の個性あふれるメンバーが、長距離を走ること(=生きること)に夢中で突き進む。自分の限界に挑戦しゴールを目指して襷を繋ぐことで仲間と繋がっていく……。	新潮文庫 907	

	書名	著者	内容	発行所
				価格
小	ツナグ	辻村 深月	一生に一度だけ、死者との再会を叶えてくれるという「使者(ツナグ)」。突然死したアイドルが心の支えだったOL、年老いた母に癌告知できなかった頑固な息子、失踪した婚約者を待ち続ける会社員……。ツナグの仲介のもと再会した生者と死者の物語。	新潮文庫 680
	世界の終わりとハードボイルドワンダーランド	村上 春樹	一角獣が生きて、壁に囲まれた街に影をはがされ入り込んだ僕が街の謎に迫る物語と、計算士という仕事で働く私がある依頼を受け、事件の渦中へと入り込んでいく物語。作者はこの小説を自伝的小説と位置づけている。	新潮社 767
	世界から猫が消えたら	川村 元気	30歳郵便配達員の僕は余命あとわずか。僕は生きるために様々なものを消すことに決めた。電話、映画、時計……。僕と猫と陽気な悪魔の不思議な7日間の物語。	小学館文庫 670
	春や春	森谷 明子	俳句の価値を主張して国語教師と対立した茜。その悔しさを晴らすため、俳句甲子園出場を目指すことに。茜のもとには個性的な仲間が集っていく。少女たちの情熱と十七音で多彩な表現を創り出す俳句の魅力に満ちた物語。	光文社文庫 800
	限界集落株式会社	黒野 伸一	日本に山積する様々な問題を一掃する、前代未聞逆転満塁ホームランの地域活性化エンターテイメント。過疎・高齢化の為に社会的生活維持が困難な土地「限界集落」の再生に、老人、フリーター、ホステスに犯罪者……。かつての負け組たちが立ち上がる！	小学館文庫 771
	リーチ先生	原田 マハ	民芸運動の創成期。濱田庄司らが活躍するころ、日本を訪れた英国人バーナード・リーチ。日本人青年と共に数年間日本に滞在する中で日本人の心に触れ、次第に陶芸に傾倒していく。日本の心を日本人以上につかんでいく物語です。	集英社 1,944
	桐島、部活やめるってよ	朝井 リョウ	田舎の県立高校。バレー部の頼れるキャプテン・桐島が理由も告げずに突然部活をやめた。そこから、周囲の高校生たちの学生生活に小さな波紋が広がっていく。『何者』で第148回直木賞を受賞した朝井リョウの作品。	集英社文庫 514
	オー！ファーザー	伊坂 幸太郎	高校生由紀夫を守る四人の父。由紀夫が遭遇する事件、事件。多声的な会話、思想、行動が一つの像を結ぶとき、思いもよぬ物語があなたの眼前にその姿を現す。	新潮文庫 810
	阪急電車	有川 浩	悩み生き方のどれも違う老若男女のふとした出会い。片道わずか15分のローカル線で起きる数々の奇跡。大変だけれど、人生って素敵だな、と感じることができるかもしれない。	幻冬舎文庫 576
	県庁おもてなし課	有川 浩	とある県庁に生まれた新部署「おもてなし課」。若手社員の掛水史貴は、地方振興企画の手始めに、人気作家・吉門に観光特使を依頼する。しかし、吉門からは駄目出しの嵐……。お役所仕事と民間感覚の狭間で揺れる掛水の奮闘が始まった！	角川文庫 761
	玄關の覗き穴からさしてくる光のよに生まれたはずだ	木下 龍也・岡野 大嗣	みずみずしい若手歌人二人が高校生に成り代わり詠んだ共著。鋭くもあり眩しくもあり、危うく儂けでもある31字のの世界からどこまでもイメージが膨らむ。共鳴できる一首に出会える一冊。	ナナロク社 1,512
	博士の愛した数式	小川 洋子	主人公が新しく家政婦として働くことになった家には80分しか記憶がもたない元数学者「博士」がいた。主人公と博士、そして息子の3人による心温まる小説である。	新潮文庫 529
	神々の指紋(上・下)	グラハム・ハンコック	1513年に描かれたという奇妙な地図。そこには1818年に初めて発見された南極大陸の姿が詳細に描かれていた。しかも、1949年のスウェーデンと英国の南極大陸調査団が初めて明らかにしたグリーンランド地方をはじめとする氷床の下の地形までもが正確に描かれていた……。	小学館文庫 各638
	すいかの匂い	江國 香織	あの夏の記憶だけ、いつまでもおなじ明るさでそこにある。つい今しがたのことみたいに――。11人の少女のかけがえのない夏の記憶の物語。	新潮文庫 464
陸王	池井戸 潤	売れ行き不振で傾きかけた老舗の足袋メーカーこはぜ屋。起死回生をの策としてランニングシューズ制作に乗り出す。次々と問題が出てくる。一つまた一つと困難に立ち向かいながら前進する社員たちの物語。	集英社 1,836	
どん底	マクシム・ゴーリキー	この物語はとにかく救われない。どん底の生活を通して心理が浮き彫りになる群像劇。先の見えない人生に悩んでいるあなたへ、生誕150周年を迎えるゴーリキーからのエールです。	岩波書店 562	
夜間飛行	サン・テグジュベリ	郵便飛行業がまだ危険視されていた草創期に、事業の死活を賭けた夜間飛行に従事する人々の、人間の尊厳を確認する勇氣に満ちた行動を描く。実録的価値と文学性を併せ持つ名作。	新潮文庫 596	
朗読者	ベルンハルト・シュリンク	15歳のミハエルが体験した初めての切ない恋。けれど21歳年上のハンナは、突然失踪してしまう。彼女が隠していた忌まわしい秘密とは……。出版後20言語に翻訳された世界的ベストセラーの日本版。	新潮文庫 594	
シャーロック・ホームズの冒険	コナン・ドイル	百年以上前の古き良きイギリスを舞台に難解な事件を明白な推理で解決する主人公シャーロックの物語は、短編でまとまっていて大変読みやすく、感想文の題材としておすすめです。	新潮文庫 596	

	書名	著者	内容	発行所
				価格
エッセイ・評論	はじめまして、お父さん	山本 甲士	地方在住の売れないフリーライターにインタビュー取材の依頼が舞い込んだ。取材相手から謝罪の旅への同行を請われたライター。人生において大事なものは何かを描いた心温まる物語です。	双葉文庫 660
	古典がもっと好きになる	田中 貴子	古典でつまらない面白くない、と思ってしまうのはもったいない。教科書には絶対載らない、載せられないであろう内容満載、古典嫌いと言語する筆者が書いたのだから、想像しても期待できるはず。	岩波ジュニア新書 518
	もし、日本という国がなかったら	ロジャー・バルバース	半世紀もの日本滞在で様々な体験。そこから育んだ日本への限りない愛情と理解。「世界で最も稀有な存在」の日本を語り、今の日本人に希望と誇りを与える一冊！	集英社インターナショナル 1,836
	面倒だから、しよう	渡辺 和子	小さなことこそ、心をこめていねいに。シスターである著者の優しい言葉が、心にしみこんでくる。時間に追われ、勉強に追われ、心に余裕が無い時こそ手に取ってほしい一冊。	幻冬舎 1,028
	今日もごちそうさまでした	角田 光代	食わず嫌いを克服することで、次々に出会う未知の食材は、買って作って味わう毎日を楽しみ発見で彩ります。読めば読むほど次の食事が待ち遠しくなる、肉食女子エッセイ。	新潮社 1,512
	人生はワンチャンス	水野 敬也	カワイイ犬の写真とともに人生が大切なことを学ぶことができる自己啓発本。偉人のワンエピソードと格言を掲載している。	文響社 1,620
	街場の文体論	内田 樹	「論文は花束である」他者に贈与する気持ちをもって、表現活動してゆくことの重要性を著者は、語る。豊かな時代を生きる私たちに必要なことを再認識させてくれる1冊。	文春文庫 799
	じぶん・この不思議な存在	鷲田 清一	「じぶんらしく」になりたい、じぶんとはいったいどういう存在なのか。きっと「じぶんらしくありたい」という概念をもう一度問い直すことになるであろう一冊。	講談社現代新書 756
	シンドラに救われた少年	レオン・レイソ 古草 秀子 訳	「シンドラのリスト」に載った最年少のユダヤ人による証言録。ユダヤ人虐殺の過酷な体験を生き延びた少年と家族。「最悪の状況で最善のことをした」ごく普通の人間＝シンドラの本当の勇氣とは何だったか？	河出書房新社 1,782
	世の中への扉 戦争を取材する— 子供たちは何を体験したのか	山本 美香	地雷で脚を失ったアダム、ゲリラに誘拐され兵士にされてしまったターティ、目の前で友達を殺されたアブドゥヌール、明日をも知れぬ毎日でも皆、一日一日を一生懸命に生きています。	講談社 1,296
	犬が来る病院 命に向き合う子どもたちが教えてくれたこと	大塚 敦子	聖路加国際病院は日本で初めて小児病棟にセラピー犬の訪問を受け入れた医療機関です。本書は、著者がそこにおよそ3年半にわたり取材した中で出会った4人の子どもの姿を描いたノンフィクションです。	KADOKAWA 1,500
	人工知能は人間を超えるか ディープラーニングの先にあるもの	松尾 豊	囲碁世界一の名人にコンピュータソフトが勝ち、今後人工知能は、20年ほどで、半分の職業を奪う可能性があるオックスフォード大学の研究グループは報告している。	角川EPUB選書 1,512
	〈2018年課題図書〉 車いす犬ラッキー	小林 照幸	殺処分される寸前の犬を引きとった男性。この男性がどんどん犬が好きになっていき、犬が事故で下肢不随になって車いすになっても、介護しながら一緒に暮らしていきます。人と動物の関わり方を考えさせられます。	毎日新聞出版 1,620
	〈2018年課題図書〉 いのちは贈りもの	フランシーヌ・クリストフ	ホロコーストを生き延びた時の体験や50年後の少女の姿を描いています。残酷な現実、つらい日々の中、お互いに支え合い励まし合う母と子。このひどい現実の中でどう生きるのか。どういう人間であるべきか。問いかける作品。アンネ・フランクとはまた別の	岩崎書店 1,728
決定版 日本のいちばん長い日	半藤 一利	原爆投下、ソ連満州侵略、最早日本の命運は尽きた。しかし日本政府は、ポツダム宣言に対し判断を決められない。八月十五日を巡る二十四時間を活写したノンフィクション。	文春文庫 648	
ハーレムの闘う本屋	ヴオーンダ・ネルソン 原田勝 訳	1939年ニューヨーク7番街に風変わりな書店が誕生した。黒人が書いた、黒人についての本だけ売れる店。「黒人は本を読まない」と言われていた時代。世間の嘲笑をよそに、黒人に本を、そして、知識を広めることに尽力したルイス・ミシヨアの生涯とは……。	あすなろ書房 1,944	
ペンギンが教えてくれた物理のはなし	渡辺 佑基	クジラやペンギン、アザラシ、アホウドリといった野生動物たちの生活は人間の目に触れず、生態は謎に包まれたままだった。そんな観察困難な動物たちに記録機器を取り付ける手法「バイオロギング」を用い、驚くべき動きのメカニズムを明らかにした1冊。	河出書房新社 1,512	
受験脳の作り方 —脳科学で考える 効率的学習法—	池谷 裕二	脳は蓄えるよりも忘れていくほうが多い。試験前に徹夜で詰め込んだ記憶は、呆気なく消えてしまう。一方、興味があるものはすぐに覚えられる。脳の働きを正しく理解して、恐れず受験に挑もう！	新潮文庫 529	
動的平衡 生命はなぜそこに宿るのか	福岡 伸一	生命とは、絶え間ない流れの中にある動的なものである。読んだら世界が違ってみえる。哲学する分子生物学者が問う「命の不思議」。今まで体験したことのないサイエンス・ストーリー。	木楽舎 1,646	